



ようねんぎだより

令和6年7月11日(木) NO. 2

共に学び 共に語り合おう 幼保小のなめらかな接続のために

今年度も、夏休みに「園参観と語る会」と「学習会」を開催します。連続性・一貫性のある幼年期教育のあり方について話し合う貴重な機会です。本年度も多くの先生方に参加していただきます。共に幼年期教育について学び、そして、幼保小の参加者それぞれの立場から、子どもたちの様子や困り感、今後の連携について、思う存分に語り合いましょう。

「野依保育園参観と語る会」

日時 令和6年7月29日(月) 9:30~11:50 (9:00~入室開始)

日程	・はじめの会	9:30~ 9:45
	・野依保育園オンライン(ライブ中継)参観	9:45~10:15
	・小学校写真参観	10:15~10:35
	・ブレイクタイム(Zoomグループ分け準備)	
	・語る会(グループごと)	10:40~11:20
	・全体会	11:25~11:45
	・終わりの会	11:45~11:50
	・退出	11:50~

※会終了後、アンケート(派遣文書裏面)へのご協力をお願いします。(8月5日まで)

「令和6年度 学習会について」

日時 令和6年8月9日(金) 14:00~16:20 (13:40~受付)

会場 ライフポートとよはし 中ホール

講師 豊橋才能教育こども園理事長・元椋山女学園大学教育学部教授

齋藤 善郎様

日程	・受付(中ホール入口)	13:40~14:00
	・開会行事	14:00~14:10
	・講演	「幼保小の連携及び接続の理解と架け橋期のプログラムのあり方」 ー幼児期から児童期に育てたい力とは何かー
		14:10~15:10
	・質疑応答	15:10~15:20
	・グループ協議	15:30~16:10
	・閉会行事	16:10~16:20

※会終了後、アンケート(派遣文書裏面)へのご協力をお願いします。(8月16日まで)

幼児教育と小学校教育をつなぐ

園での実践を紹介します。園の先生方が大切にしていることや、小学校につながる「10の姿」をつないでいきたいです。

梅の実で遊ぶ

毎年、園でできた梅を使って梅シロップを作ります。拾い集めた梅を使って、『重さ遊び』をしました。大小さまざまな実をスケールに乗せたり減らしたり、1粒増やして2粒減らしてと実の数も変化させたりしていくうちに、スケールの数字が変わっていくことに気づきました。段々と、梅だけでなく近くにあるいろいろな物に乗せてみたくなり、水筒やボール、園庭に落ちていた木の実の重さを量り出す子どもたち。遊んでいるうちに、「100gを目ざす」ことが目標になりました。「100gにするには、次は小さめの実を置いてみよう」と予測し、友達と相談しながらどの実を置くか決める子どもたちもいました。



中には、実をスケールにぶつけて傷をつける子もいましたが、傷がつくと腐って、食べられなくなることを、だからこそ物を大切に扱うことの大切さを知って欲しいと願って言葉をかけるようにしています。



「バケツに入れば、梅が転がっていかない!」と、工夫する子もいました。



「皆の手を乗せたらどうなるかな?」と乗せてみると、「33333」になって喜びました。本当は『ERROR』の『EEEEEE』なのですが、子どもたちには「3」に見えた、おもしろい発見でした。



しっかり100gを目ざして、真剣に見守ります。



この実践で見られた子どもたちの10の姿

自立心

協同性

言葉による伝え合い

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量や図形標識や文字への関心・感覚

園の先生の工夫をちょっと拝見

絵音符

子どもたちが視覚的に理解しやすいように使用しています。

🍌 → バナナ、🍷 → ミカン

3拍打つ

🐧 → ペンギン

4拍打つ

🍦 → アイスクリーム、🐉 → ドラゴンボール

7拍打つ

...など、絵を見て何拍打つかがわかります。

タンブリン、トライアングル、カスタネット、太鼓類などで使用できます。「ペンギン」のとき、大太鼓は打つけど、他の楽器は「おやすみ」など、同じ拍数でも、打つ担当が決まっているので、子どもたちは自分の楽器の絵音符を覚えて合奏をします。

